



地域日本語支援ニュース こだま 第 245 号

2013.11.28



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■ともに生きる■

～笑顔で心からの仕事を～

J T Mとくしま日本語ネットワーク 田村マリフェ

2■進学進路ガイダンス情報■

高校進学説明会情報(12月・1月)*今回は新しい情報はありません

=====

1■ともに生きる■

J T Mとくしま日本語ネットワークの事務局を置く公益社団法人徳島県労働者福祉協議会では、2009年度から県内在住外国人の就労支援事業として、職場で通用する日本語やビジネスマナーを学ぶ「就職のための日本語講座」と、介護現場で必要とする日本語や心構えを学ぶ「介護の日本語講座」を実施しています。田村マリフェさんは、2012年度に両講座を修了後、介護の資格を取得し、めざす就職を果たしました。就職活動の折には、AJALTが開発中のEラーニング教材「仕事を探そうー履歴書の書き方から面接まで」を活用して履歴書を作成されました。今回、田村さんの仕事への想いを、J T Mとくしま代表の兼松文子さんがインタビューし寄稿してくださいましたのでご紹介します。

☆☆☆☆☆☆☆☆

～ 笑顔で心からの仕事を ～

田村 マリフェ

◆毎日チャレンジ◆

私は、2013年3月にホームヘルパー2級の資格を取得し、5月に徳島市のデイケア施設に就職しました。日本語の勉強と介護の資格を取るための勉強はたいへんでしたが、毎日チャレンジしていたら、気持ちが充実してきて、次の日に向かって前を向いて努力することがとても楽しくなりました。

ホームヘルパー2級養成講座が終わりに近づいたころ、JTMとくしまの日本語の先生が、履歴書の書き方を教えてくれるサイトを紹介してくれました。講座が始まる前の時間に、先生といっしょに少しずつ練習しました。学歴や職歴は書けても、「志望動機」や「本人希望欄」にはどう書いていいかわからなかったなので、サイトを参考に、体力に自信があることや身体を動かすのが好きなことを書きました。このようなサイトがあると、外国人も仕事を探すときとても助かると思います。

◆誇りを持って働く◆

介護の資格をもらったときは、信じられないほど嬉しかったです。初めて職場で名札を付けたとき、嬉しくて仕事が終わっても名札を付けたままスーパーに行って買い物をしました。私には居場所ができた。ここで働いている。資格を持って、誇りを持って働いている。そう言いたい気持ちでいっぱいでした。

最初は緊張して、利用者さんの名前が覚えられず、夢にまで出てきました。ノートに名前といっしょに性格や食べ物の好み、薬の種類や数を書いて覚えめました。少しでも時間が空いたら、職員の仕事を観察して、まだ経験していないことを見つけたらトライします。慣れたらまた新しいことを見つけて経験を増やします。自分の力でどこまでできるかチャレンジしたいです。

◆お互いに助け合いね◆

就職して6カ月が経ちました。利用者さんが、
「マリちゃんが入れてくれたコーヒーはおいしい。」
「マリちゃんが休みの日は寂しい。」
「薬のことを全部覚えていて娘が飲ませてくれるようだ。」
と言ってくれます。私は利用者さんに、
「してもらいたいことを我慢しないで言ってね。」

あなたたちがいなければ、私たちはここにいない。
私たちがいるから、あなたたちがいる。お互いに助け合いね。」
と言っています。

毎日楽しく仕事をしています。職員もみんなやさしく接してくれます。わからないことがあったら、職員の輪の中に入って、皆さんに教えてもらって頑張っています。チームワークはとても大切だと思うので、自分から覚えるように努力しています。分からないことはすぐに教えてもらうことや、笑顔で仕事をすることを大事にしています。

お世話になったたくさんの方々のおかげで私は介護の仕事に就くことができました。将来の夢や目標について聞かれることもあります。今は、あしたのこと、今の幸せのことを考えて毎日を積み重ねていきたいです。そうしたら、いつか夢や目標が目の前に現れるときが来るのではないかと思います。
